

けいはんな学研都市 ヘルスケア開発地域

無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…関西経済連合会

学…**奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学、大阪大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、同志社大学、大阪電気通信大学、産業技術総合研究所**
関西センター

官…京都府、大阪府、奈良県

金…南都銀行、京都銀行、関西文化学術研究都市推進機構

地域イノベーション戦略

地域イノベーション戦略:平均寿命と健康寿命の乖離、医療費の高騰など、超高齢社会に伴う課題が顕在化しています。今後は国民が自身の健康に責任を持って健康管理を行い、在宅で快適な健康長寿生活を送ることが求められています。在宅や地域コミュニティにて気軽に利用できる技術の開発と、その成果の事業化及び地域実装に向けた取組を通じてイノベーションを創出し、幸齢社会(誰もが幸せに歳を重ねることのできる社会)を実現することを目指します。



プロジェクトディレクター
寺崎 肇

略歴:昭和58年京大工卒。同年三洋電機入社。知能ロボット、ヘルスケア等の研究・事業開発に従事。博士(工学)

世界的に広がる超高齢社会の進展に伴い、生活習慣病の患者・認知症や寝たきり高齢者が増加しています。これらを予防し、健康寿命を延ばすこと、高齢者のQoL (Quality of Life) を向上させることが、医療・介護費の抑制のみならず、人々の幸せのために重要なテーマです。我々は「この地域に住めば健康長寿で幸せになれる」を合言葉に、幸齢社会の実現をめざして、ヘルスケアシステムの研究開発・事業化・地域実装に取り組んでいます。

事業の内容

【全体計画及び成果】

発症及び再発抑制・健康寿命延伸・医療費削減を狙いに、日常生活での生体情報を計測し、適切なアドバイスを行う無意識・非侵襲的な計測・検査装置の開発と、これらを活用した下記重点テーマを推進しています。

■「けいはんなヘルスケアシステム」:

「けいはんなヘルスケアシステム」:地域に出向いて簡易的に住民の生体計測を行い、健康意識を啓発する“健康キャラバン”と、スマートフォンを用いた健康意識維持ツール“健康みはり”を活用し、健康改善を実現するシステムです。ただいま地域実装を目指した取組を行っています。



健康キャラバン(木津川市)

■「在宅療養患者再発防止システム」:

在宅療養時の脳卒中患者が、意識することなく血圧や心電図を計測し、異常時にICTを介してコ・メディカルの適切な処置で再発を防ぐシステムを開発中です。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関:奈良先端科学技術大学院大学ほか6大学)
地域構想を担う研究者を8人招へいし、一例として、以下の写真のようなヘルスケア関連研究開発や事業化を推進しています。

深部体温計



●深部体温を連続計測かつ高精度に計測

●ヒータレス&小型軽量

骨質評価装置



●ジュニア層の骨成長を評価

●被曝の心配がないため、何度でも計測可能

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関:奈良女子大学)
健康意識を啓発し医療費削減につなげるヘルスケア事業を推進する人材を育成しています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関:関西文化学術研究都市推進機構)
6人のコーディネータ等で、社会に有用なヘルスケア事業のマッチングを推進しています。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共有化
(実施機関:同志社大学)
地域の大学や企業にfMRI装置の活用を支援しています。